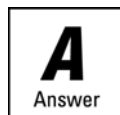


SS3 > 入力 > 保有水平耐力

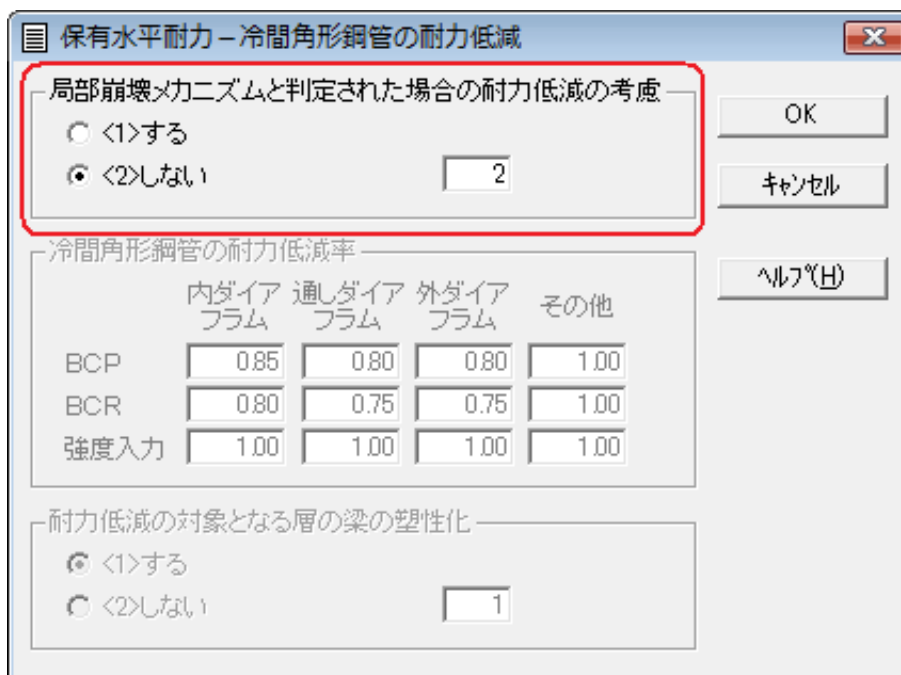
 文書番号:01550
 最終更新日:2010/01/19


局部崩壊で耐力低減せずに解析する方法

冷間成形角形鋼管を用いた場合で、崩壊形が局部崩壊となると、耐力低減するケースと耐力低減しないケースの2ケースを計算する必要がありますが、耐力低減せずに解析する方法を教えてください。



[14.2保有水平耐力-4冷間角形鋼管の耐力低減-局部崩壊メカニズムと判定された場合の耐力低減の考慮]において、“<2>しない”を指定してください。



保有水平耐力 - 冷間角形鋼管の耐力低減

局部崩壊メカニズムと判定された場合の耐力低減の考慮

<1>する
 <2>しない

冷間角形鋼管の耐力低減率

	内ダイア フラム	通しダイア フラム	外ダイア フラム	その他
BCP	<input type="text" value="0.85"/>	<input type="text" value="0.80"/>	<input type="text" value="0.80"/>	<input type="text" value="1.00"/>
BCR	<input type="text" value="0.80"/>	<input type="text" value="0.75"/>	<input type="text" value="0.75"/>	<input type="text" value="1.00"/>
強度入力	<input type="text" value="1.00"/>	<input type="text" value="1.00"/>	<input type="text" value="1.00"/>	<input type="text" value="1.00"/>

耐力低減の対象となる層の梁の塑性化

<1>する
 <2>しない

OK
キャンセル
ヘルプ(H)